

HELP English Academy =Clark=



HELP English Language Program - Clark Campus（以降、クラーク校）は、ヘルプ英語学校が保有する 2 校舎の内の一つです。学習と余暇にメリハリが欲しい。そんな方には「クラーク校」をお勧めします。クラーク校は経済特区内に位置するため、抜群に良い治安と南国ならではの気候が特徴です。周辺には多くの観光地や娯楽施設があります。また、クラーク国際空港は車で 3 分の位置にあるため、気軽にセブ・ボラカイ・ボホール等のリゾート地にアクセスできます。

HELP English Academy

創立1996年のヘルプ英語学校は、フィリピンにある英語学校の中で最も歴史のある学校です。教育都市として名高いバギオ地域に一校舎<ロンロン校>、首都マニラ近郊のクラーク経済特区内に一校舎<クラーク校>、計二校舎を展開しています。また、ロンロン校には国際大学「Concordia College of Banquet」が内在し、同校舎内で「パスウェイプログラム（大学進学プログラム）」の提供も行なっています。クラーク校には、オンライン英語教育センター「IBT Core IvoLine」および国際学校「Gentry International School」が併設されています。ボーディングスクール（学生寮一体型キャンパス）のパイオニアとして始まったヘルプは、語学学校の運営に留まらず、教育の幅広い分野で事業展開をしています。

HELP English Academy の校風

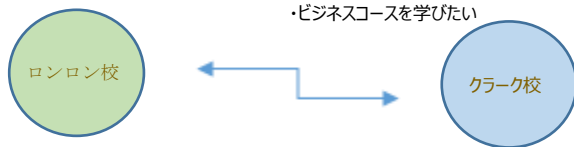
フィリピン国内には数多くの学校がありますが、中でも HELP English Academy は「厳しい学校」として有名です。学校には多くの規則があり、違反者には罰則を設けています。重大な違反の場合、除籍措置を取ることもあります。このような書き方をすると怖いイメージを持つ方もいると思いますが、不要なトラブルを排除し、学習に没頭できる環境に尽力しております。クラーク校は治安がよいと言われる地域にありますが、その場所でも危険な行動を伴えばトラブルに遭遇する確率はあがります。毎年数名の退学者が出ますが、その大半が危険行動に伴うものです。例：泥酔して人に迷惑をかける、共同生活上の配慮の欠け等。現に現地の留学生からルールの強化についての要望を受けます。実際に生活してみると厳しいルールも当たり前のことなので、規則の重要性も理解し得ます。それゆえ、自然と、真面目な学生が多く集まります。多くの規則があると認識した上で来られるので、勉強に対する意識の高い方が来られ、学校の雰囲気をもた色濃くしております。学校を選ぶ上で優先することは様々ですが、規則、環境と同じく一緒に生活する人もまた選択肢に含めて感ずることも大切だと思います。ぜひ、HELP English Academy にお越しください。

クラーク校の位置付け

キャンパス	ロンロン校	クラーク校
学生の層	中級-上級者が多い	初級-中級が多い
規模	350名	250名
日本人比率	5-10%	10-20%
入学試験	一部コースであり	一部コースであり
人気のコース	TOEFL・IELTS・ESL	ESL・TOEIC・IELTS
入学可能な年齢	満17歳以上	満17歳以上
特徴的な施設	ジム・カフェテリア	プール・ゴルフ

入学後のニーズに合わせてキャンパス移動ができる！

- ・学生が少ない環境で学びたい
- ・ペースを落として学びたい
- ・ビジネスコースを学びたい



- ・テスト対策に特化したい
- ・高いレベルで英会話を学びたい
- ・日本人割合の小さい環境で学びたい

*ロンロン、クラーク校ともに入学テストはありませんが、テストコース（TOEIC, IELTS, TOEFL）希望者には、受講に際して、入学前スピーキングテストがあり、エントリースコアを設けてます。一定のスコアをマークする必要があります。

*17歳以上の受け入れが可能です。高校生の場合、一般生徒とは異なるケアが必要です部屋割り等も考慮する必要があります。状況により、受け入れが難しい場合があります。まずは代理店にお問い合わせ願います。キャンパスの受け入れ状況及びサポート体制を考慮して、最適なキャンパスをご案内させていただきます。（保護者、監督者がいる場合を除き、原則15歳未満の受け入れはできません。）

キャンパス間の転校制度について

- ◇ 転校は、移動先のキャンパスで4週間以上の滞在期間が残っていることが条件です
- ◇ 転校は、2週間ごとの隔週の受入日にて可能です。
- ◇ 留学中に校則違反があった場合、転校先のキャンパスで受け入れ不可になる場合があります。

クラークキャンパスの特徴

◇教師の質へのアプローチ

HELP English Academy では“常勤講師率”を重視しています。

常勤講師が長く働きやすい環境を整えることによって、安定した高水準の教育にアプローチをしています。夏・冬の学生が多くなる時期でも、同グループ内で講師を移動させることで、極力臨時雇用を起用しない方針を採用しております。

講師の安定供給ができない場合に限り、信用できるエージェントを介して、教育経験が豊富な講師の臨時採用を行っています。

*クラーク校の繁忙期では、グループ内のオンライン英会話部署より経験豊富な講師をピーク時のオフライン講師として採用します、通常の一般講師と同等またはそれ以上の指導力を持っています。

◇柔軟な受け入れ体制 =あらゆるニーズに対応=

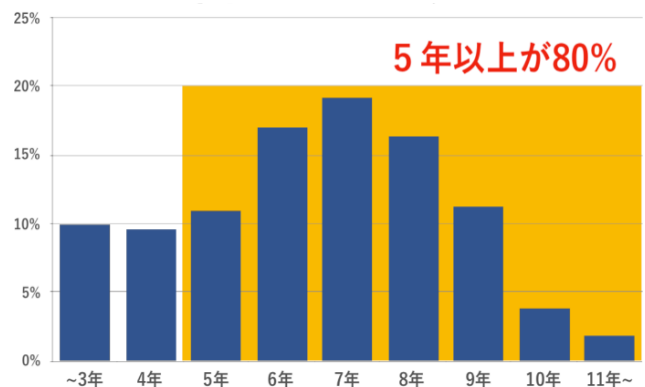
多彩なコース、部屋タイプの食の合わせにより、お客様の予算・希望に合わせたプログラムをお選びいただけます。また、同グループに複数キャンパスがあるため、就学途中の転校により、その時のレベル・ニーズに合わせて環境を変えることができます。各キャンパスの柔軟性により対応可能です。

空き時間に授業のボリュームを増やしたい場合、現地オプションにて待つ一授業を追加することも可能です。（*ESL：1コマ4週間/13,000円*テストコース：1コマ4週間/16,000円）

*コース変更は現地でも可能です。プログラム開始の3週間前までに申請をしていただけます。（残存期間が4週間以上必須）

*コース変更同様、お部屋タイプも現地でも変更可能です。ただし移動部屋タイプに空きがある場合に限ります。

講師の勤続年数分布



*コース、お部屋タイプの変更に伴う差額は、現地で支払いが可能です。（現地通貨フィリピンペソでお支払いお願いいたします。）

尚、マイナス差額の返金是对応していません。

*マンツーマン授業をアレンジすることは可能です。ただし、行き過ぎた要求及びコース内容を超えたアレンジは対応できません。

（例）専門知識を要する内容、部分的に TOEIC コースにする等、すべてスピーキング科目の設定、フリートーク、などのアレンジは対応できません。

◇スパルタ式の英語教育

スパルタ式の教育を採用する理由はより多くの人に“限られた期間の中で最大の結果”を出していただくためです。濃厚なカリキュラム・真面目な学習環境は“真剣に英語力向上を考える学生”を集めます。学校でのカリキュラムを継続することで、英語学習は必ず実を結びます。また、厳しい環境で学ぶことによって得られるものも数多くあります。キャリア、海外進学、ワーキングホリデー等、人によって英語を学ぶきっかけは様々ですが、英語にかかわる分野では、英語ができるに越したことはありません。スパルタ式は万人受けする手法ではありませんが、厳しい環境に身を置いて学びたい方には多くのメリットがあります。

◇クラーク経済特区内に立地

クラーク校はクラーク経済特区内にキャンパスがあります。特別区のため、学校周辺は非常に治安が良く、秩序が保たれています。フィリピン国内でも日本と同じ感覚でジョギングやサイクリングができる地域は、この特別区のほか数えるほどしかありません。また、クラーク空港から車で3分とアクセスが非常によく、さらに、関西国際空港と成田空港から直行便が出ているため、抜群のロケーションです。また、マニラ空港からも車で2時間ほどでアクセスできます。日本⇄マニラ間には多くの直行便が就航しているため、どの地域からも容易にフィリピンへ行くことが可能です。



クラーク国際空港（車で3分）



ゲート限定車のみ通行可



クラーク内の街並み（整備された美しい並木道）



バルーンフェスティバル（毎年2回開催）

クラーク校の校舎

3階	寮（男性用）
2階	寮（女性用）
1階	教室・オフィス・食堂・売店

*クラークキャンパスは3階建てです。



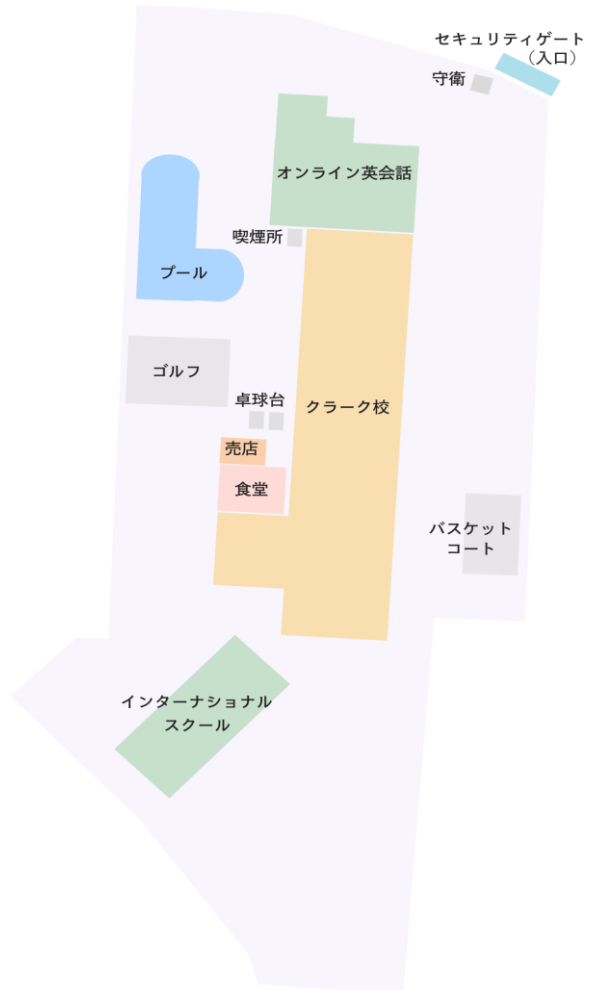
大きなプールをはじめ、バスケットボールや卓球台などを

設備しております。授業後は気分転換にスクールメイトと英語を

使いながら遊ぶこともできます。

平日は外出不可ですが、広い敷地を持つためそれを感じさせません。

集中して学習に打ち込むには非常にいい環境です。



- 校舎内にはCUBOと呼ばれる竹小屋に至る所に設置してあります。屋外の開放的な環境で授業をすることも可能です。
- 校内には、売店・クリニックも設備してあります。キャンパスの外に出なくとも、日常生活に困ることはありません。
- 学校から、徒歩5～20分圏内にスーパー、ファストフード店等スポーツジムがありますので週末も気軽に近場でリフレッシュできます。
- 近隣には、日本人の通訳がいる病院があります。(予約制)現地スタッフが予約のサポートを行います。海外保険に加入があれば、キャッシュレス、送迎付きにて対応ができます。(クレジットカード付帯を含むほとんどの保険が対応できます。)
- 自習用として、マンツーマンで使用している教師の部屋を利用することが可能です。(午前1時まで)

☆お困りのことがあれば、オフィスまでお気軽にご相談にお越しく下さい。

クラーク校のプログラム概要

プログラムの流れ

週	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 週目	渡航	プレースメントテスト オリエンテーション	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業 ミーティング	休み
2 週目	休み 模擬テスト(夜)	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業 ミーティング	休み 外泊可
3 週目	休み 模擬テスト(夜)	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業 ミーティング	休み 外泊可
4 週目	休み 模擬テスト(夜)	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業 レベルアップテスト	通常授業 ミーティング	休み 外泊可

クラーク校のプログラムは 4 週 1 単位です。上表は、プログラム 1 週目に入学者の場合のスケジュール例です。HELP では指定入学日を設けておりますので、入学日によってはプログラム 3 週目からとなります。この場合も同様、入学初日に**オリエンテーション**及び**プレースメントテスト**（レベル分け試験）を実施します。

* 週末に外泊をする場合、事前に校内所定の手続きをする必要があります。（ただし、クラーク経済特区内の宿泊は不可）

* は外出可能日です。金曜は 18 時から 24 時、土曜日は 6 時から 24 時、日曜日は 6 時から 21 時まで外出が可能です。（祝日により変動有）

プレースメントテスト

レベル判定のテストです。試験の結果で使用する教科書やグループ授業が振り分けられます。ESL コースの場合、四技能を測る試験です。（筆記・面接）

新入生オリエンテーション

留学に必要な手続きや学生生活に必要な知識をレクチャーします。学校内の説明の後、生活品の買い出しのため、近隣のショッピングモールへお連れします。モールでは両替が可能です。

チームミーティング

共有事項・喚起事項の連絡を行います。* 卒業生に対しては、別途ミーティングを設けています。（デポジットの清算、帰り方、等）

模擬試験（対象：テストコース受講者）

毎週日曜日の夜、TOEIC・IELTS・TOEFL の模擬試験をキャンパス内にて行っています。

* テストコース以外の方が受ける場合、参加費をお支払頂くことで受講が可能です。（TOEIC: 50 ㄴ、IELTS, TOEFL : 400 ㄴ）

在校確認（毎日）

・平日（月一木・日）は指紋による点呼を指定された時間内で行っていただけます。・週末（金・土）はスタッフによる各部屋の見回り並びに点呼を行います。

点呼中に部屋にいない場合、ペナルティが課せられます。（1～3 週間の外出禁止または除籍）



1 日の流れ

授業の流れは以下の通りです。

* クラーク校で人気な Speaking Intensive コースの場合(マンツーマン授業×5 コマ、グループ授業×2 コマ)

時間	スケジュール	科目	
6:30-8:00	朝食		1F Cafeteria
8:00-8:45	マンツーマン授業(1)	Reading	
8:55-9:40	マンツーマン授業(2)	Speaking	
9:50-10:35	グループ授業(1)	Grammar	
10:45-11:30	空き時間		
11:30-12:30	昼食		1F Cafeteria
12:30-13:15	マンツーマン授業(3)	Writing	
13:25-14:10	マンツーマン授業(4)	Listening	
14:20-15:05	空き時間		
15:15-16:00	グループ授業(2)	Speaking	
16:10-16:55	マンツーマン授業(5)	Speaking	
17:10-17:55	*スペシャルクラス(A)		毎プログラム内容が異なる
17:55-19:00	夕飯		1F Cafeteria
19:00-19:45	*スペシャルクラス(B)		毎プログラム内容が異なる
19:45-20:30	義務自習		
20:30-20:45	単語テスト	Vocabulary	

*スペシャルクラスは A,B ともに選択制です。出席されない場合は、義務自習となります。

コース

以下、クラーク校で開講するコース内容です。 * 1 コマ=45 分

1hour:45 分	1:1 Individual	1:4 Group	Special ClassA/B	VOCA TEST	Total
ESL (ESL-4)	4 hrs	*2 hrs	*2 hrs	0.5 hrs	6.5~8.5 hrs
Speaking Intensive(ESL-5)	5 hrs	*2 hrs	*2 hrs	0.5 hrs	7.5~9.5 hrs
Test Course (TOEIC/IELTS/TOEFL)	4 hrs	*2 hrs	*2 hrs	0.5 hrs	6.5~8.5 hrs
Business	5 hrs	0 hrs	*2 hrs	**0.5 hrs	5.5~7.5 hrs
Light ESL(ESL-2)	2 hrs	*2 hrs	*2 hrs	0.5 hrs	4.5~6.5 hrs

*テストコースは人数が揃わない場合、グループクラス 2 コマの代わりにマンツーマンが 1 コマ割り当てられます。

◇テストコースの受講 (TOEIS,IELTS,TOEFL) テストコース希望の方は、ご入学前に以下の流れを踏んでいただけます。

◦ Skype 面接 : クラーク校の講師と英語によるスピーキングテスト (もしくは公式スコアの提示) ◦ ご入学時、プレイスメントテスト(筆記、面接)

=コース紹介=

ESL コース Level 1~5 (ESL・Speaking Intensive・Light ESL)

定番の一般英会話コースです。HELP では、マンツーマン授業数に応じて ESL(旧 ESL-4)、Speaking Intensive(旧 ES-5)

Light ESL (ESL-2)の 3 コースを開講しています。マンツーマン授業では英語の 4 スキル (読む・聞く・話す・書く) をバランスよく学びます。

クラーク校にて多くの生徒が選ばれるコースはマンツーマンクラスが 5 コマある Speaking Intensive コースです。* Light ESL はトライアルコースです。

レベル

ステージ	コース	レベル	受講レベルの目安	受講期間の目安
Advance	Speaking Intensive	Level 5	ゆっくりだが正確かつ柔軟に受け答えができる	-
Intermediate		Level 4	語彙力があり、簡単な英会話は問題なくできる	4 週～12 週
Pre Intermediate		Level 3	挨拶・紹介等、パターン会話ができる	4 週～12 週
Elementary		Level 2	少しだけ英会話になれている・経験がある	4 週～12 週
Beginner		Level 1	初めて英会話を学ぶ	4 週～12 週

テスト対策コース Stage 1~5 (TOEIC・IELTS・TOEFL)

各試験対策指導に長けた講師が担当をします。英会話コースと比較して、各授業がテスト対策に特化した内容で負荷が強くなります。授業にて基礎をしっかりと築き、ノウハウを身に付け、演習～解説を繰り返すことによって、着実にスコアアップへとアプローチします。

* エントリースコア

テストコースでは 5 段階のレベルングを採用しています。各レベル、受講に際して、エントリースコアが求められます。エントリーを満たした場合のみ、各 Stage でのコース受講が可能です。事前に公式スコアを提出していただくか、入学前 Skype テスト + 初日のプレースメントテストを受けていただきます。

* Stage 1 下表赤字のエントリースコアを満たすことができない場合、お申込みコースは ESL コース Speaking Intensive に自動的に振り替えられます。

コース	Stage	エントリースコア
TOEIC	Stage 1	350
	Stage 2	450
コース	Stage	エントリースコア
IELTS	Stage 1	2.5 点
	Stage 2	3.0 点
コース	Stage	エントリースコア
TOEFL	Stage 1	20 点
	Stage 2	30 点

Business コース

ビジネスの場面に適した表現力を高めるコースです。授業では、ビジネスにて通用するコミュニケーション力の習得を目標とします。学生の希望とされるビジネスシーンでの適切な表現・英単語を学びます。

演習ではディベート、ディスカッション、面接練習、プレゼンテーションなどをテーマに取り組みます。

* ESL コースの代替えとしてビジネスコースを検討される方が多くいらっしゃいますが、HELP では IELTS General コースの受講をおすすめしています。

コース詳細

ESL コース : クラーク校が提供する一般英会話コースでポピュラーなコースです。以下、授業の内訳です。

1hour:45 分	1:1 Individual	1:4 Group	Special ClassA/B	VOCA TEST	Total
ESL(ESL-4)	4 hrs	*2 hrs	*2 hrs	0.5 hrs	6.5~8.5 hrs

以下、1 日の時間割と各レッスンの授業数の内訳です。

時間	スケジュール	科目	
6:30-8:00	朝食		1 F Cafeteria
8:00-8:45	マンツーマン授業 (1)	Reading	授業のトピックに関する単語・表現・予備知識を確認し、教科書の読み物をベースに授業が展開されます。単に読むだけでなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションもあります。他教科と比較して単語レベルは若干難しくめで、課題の量も多くなります。
8:55-9:40	マンツーマン授業 (2)	Speaking	授業トピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。 なお、HELP では授業毎に必ずトピックを設けています。基本的にフリートークは禁止です。

9:50-10:35	グループ授業 (1)	Grammar	講師1 学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。グループで基礎文法の学習を行います。学生が少ない為、授業中に発言する機会は多くあります。
10:45-11:30	空き時間		
11:30-12:30	昼食		1 F Cafeteria
12:30-13:15	マンツーマン授業 (3)	Writing	Writingに必要な基礎知識(起承転結に必要なフレーズ等)を学習し、その後演習として英作文やエッセイを行います。講師は随時添削を行い、文法・表現等のミスを修正します。 エラーだけでなく、より良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等も並行して学びます。
13:25-14:10	マンツーマン授業 (4)	Listening	キーワードや音のつながり等、英語を聞き取るための要素の復習を行ったうえで授業に入ります。授業では単に教科書の問題を解くだけでなく、要所でリスニングのためのテクニック指導を行います。 (音を捉える為、発音やイントネーションの指導も授業で行われます。)
14:20-15:05	空き時間		
15:15-16:00	グループ授業 (2)	Speaking	講師1 学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。 講師主導の下、ディスカッション・ディベート・プレゼンテーションなどのグループワークを中心の授業展開です。 学生が少ない授業の為、発言する機会が多くあります。
16:10-16:55	空き時間		
17:10-17:55	スペシャルクラス (A)		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。 プログラム毎により内容が異なります
17:55-19:00	夕飯		1 F Cafeteria
19:00-19:45	*スペシャルクラス (B)		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。 プログラム毎により内容が異なります
19:45-20:30	義務自習		所定の場所で時間内、義務自習を行います。
20:30-20:45	単語テスト	Vocabulary	月一木 録音によるテスト。レベル毎に試験内容が異なります。

ESL コースはこんな人にオススメ!

初めて英語を学ぶ人にオススメのコースです。HELP が提供する英会話コースの中では一番バランスが取れています。

英語の勉強を始めようとコースで悩んでいる方はまずはこちらのコースをお取りください。

* 4 週間のプログラム毎にコース変更が可能です。より多くの授業を取りたい場合、Speaking Intensive (ESL-5)

へグレードアップすることができます。ただし、コース間の差額の支払いが必要です。差額費用のお支払いは現地オフィスで回収いたします。

コース受講前に取り組んでほしい内容

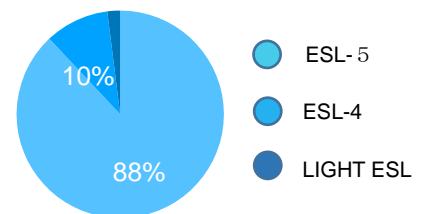
限られた留学期間でより効率的に英語を身に着けるため、可能な限り以下の準備をお願いします。

【基礎語彙・表現・文法】

市販されている参考書を活用し、基本的な単語・表現及び、文法は事前にかくしゅうしておくことをおすすめします。留学が始まってからも学びなおす必要はありますが、できる限り事前にやっておくことで、現地でいいスタートを切ることができます。基礎知識があるほど、現地での吸収が良くなります。

【自己紹介】

現地では、多くの講師・友人と関わります。1~2 分の自己紹介は事前に考えておいてください。また、質問されることを想定して、身の回りのことは簡単に紹介できるよう、事前に練習しておくことをお勧めいたします。(いい自己紹介は、いい人間関係を作ります)



Speaking Intensive コース : クラーク校が提供する一般英会話コースで最も人気なコースです。以下、授業数の内訳です。

1hour:45分	1:1 Individual	1:4 Group	Special ClassA/B	VOCA TEST	Total
Speaking Intensive (ESL-5)	5 hrs	*2 hrs	*2 hrs	0.5 hrs	7.5~9.5 hrs

以下、1日の時間割と各レッスンの授業数の内訳です。

時間	スケジュール	科目	備考
6:30-8:00	朝食		1 F Cafeteria
8:00-8:45	マンツーマン授業 (1)	Reading	授業のトピックに関する単語・表現・予備知識を確認し、教科書の読み物をベースに授業が展開されます。 単に読むだけでなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションもあります。 他教科と比較して単語レベルは若干難しめで、課題の量も多くなります。
8:55-9:40	マンツーマン授業 (2)	Speaking	授業トピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。 話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。 なお、HELP では授業毎に必ずトピックを設けてます。基本的にフリートークは禁止です。
9:50-10:35	グループ授業 (1)	Grammar	講師 1 学生 4 名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。 グループで基礎文法の学習を行います。学生が少ない為、授業中に発言する機会は多くあります。
10:45-11:30	空き時間		
11:30-12:30	昼食		1 F Cafeteria
12:30-13:15	マンツーマン授業 (3)	Writing	Writing に必要な基礎知識(起承転結に必要なフレーズ等)を学習し、 その後演習として英作文やエッセイを行います。講師は随時添削を行い、文法・表現等のミスを修正します。 エラーだけでなく、より良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等も並行して学びます。
13:25-14:10	マンツーマン授業 (4)	Listening	キーワードや音のつながり等、英語を聞き取るための要素の復習を行ったうえで授業に入ります。 授業では単に教科書の問題を解くだけでなく、要所でリスニングのためのテクニック指導を行います。 (音を捉える為、発音やイントネーションの指導も授業で行われます。)
14:20-15:05	空き時間		
15:15-16:00	グループ授業 (2)	Speaking	講師 1 学生 4 名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。 講師主導の下、ディスカッション・ディベート・プレゼンテーションなどのグループワークを中心の授業展開です。 学生が少ない授業の為、発言する機会が多くあります。
16:10-16:55	マンツーマン授業 (5)	Speaking	授業トピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。 話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。 なお、HELP では授業毎に必ずトピックを設けています。基本的にフリートークは禁止です。
17:10-17:55	スペシャルクラス A		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
17:55-19:00	夕飯		1 F Cafeteria
19:00-19:45	*スペシャルクラス B		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
19:45-20:30	義務自習		所定の場所で時間内、義務自習を行います。
20:30-20:45	単語テスト	Vocabulary	月一木 録音によるテスト。レベル毎に試験内容が異なります。

こんな人にオススメ!

マンツーマンクラスが 5 コマあるコースです。かつ毎日スピーキングのクラスが 2 コマあるので、特に会話力をアップしたい方におすすめです。日本人特有の会話力の弱さを徹底的に学べます。

マンツーマンの授業だからこそ、ミスをするかも知れませんが、マンツーマン 4 コマじゃ物足りない、もっと話す時間を増やしたいという方にお勧めのコースです。

Light ESL コース *受け付けは4人部屋のみ

トライアルのコースです。以下、授業数の内訳

1hour:45分	1:1 Individual	1:4 Group	Special ClassA/B	VOCA TEST	Total
Light ESL	2 hrs	*2 hrs	*2 hrs	0.5 hrs	4.5~6.5 hrs

以下、1日の時間割と各レッスンの授業数の内訳です。

時間	スケジュール	科目	備考
6:30-8:00	朝食		1 F Cafeteria
8:00-8:45	空き時間		
8:55-9:40	マンツーマン授業 (1)	Speaking	授業トピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。 話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。 なお、HELP では授業毎に必ずトピックを設けています。基本的にフリートークは禁止です。
9:50-10:35	グループ授業 (1)	Grammar	講師1 学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。 グループで基礎文法の学習を行います。学生が少ない為、授業中に発言する機会は多くあります。
10:45-11:30	空き時間		
11:30-12:30	昼食		1 F Cafeteria
12:30-13:15	マンツーマン授業 (2)	Writing	Writing に必要な基礎知識(起承転結に必要なフレーズ等)を学習し、 その後演習として英作文やエッセイを行います。講師は随時添削を行い、文法・表現等のミスを修正します。 エラーだけでなく、より良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等も並行して学びます。
13:25-14:10	空き時間		
14:20-15:05	空き時間		
15:15-16:00	グループ授業 (2)	Speaking	講師1 学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。 講師主導の下、ディスカッション・ディベート・プレゼンテーションなどのグループワークを中心の授業展開です。 学生が少ない授業の為、発言する機会が多くあります。
16:10-16:55	空き時間		
17:10-17:55	スペシャルクラス A		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
17:55-19:00	夕飯		1 F Cafeteria
19:00-19:45	スペシャルクラス B		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
19:45-20:30	義務自習		所定の場所で時間内、義務自習を行います。
20:30-20:45	単語テスト	Vocabulary	月 - 木 録音によるテスト。レベル毎に試験内容が異なります。

こんな人にオススメ!

学習体力に自信がない方のためのトライアルコースです。(受講目安は4週間です)

マンツーマン授業2コマあります。Speaking ,Writing を推奨しています。重複選択は不可。

* 4週間のプログラム毎にコース変更が可能です。より多くの授業を取りたい場合、ESL または Speaking Intensive コースにグレードアップすることが可能です。現地にて差額非世のお支払いをお願いいたします。(オフィスにて回収いたします。)

* トライアルコースの為4人部屋のみ受付です。(他のルームタイプでは受付不可)

TOEIC コース

以下、授業数の内訳

1hour:45 分	1:1 Individual	1:4 Group	Special ClassA/B	VOCA TEST	Total
TOEIC	5 hrs	*0~2 hrs	*2 hrs	0.5 hrs	5.5~7.5 hrs

1日の時間割と各レッスンの概要です。*一例です。各時間割りは異なります。

時間	スケジュール	科目	
6:30-8:00	朝食		1 F Cafeteria
8:00-8:45	マンツーマン授業 (1)	Listening Part 1&2	講師と共に解説を繰り返します。回答を導くためのテクニックも合わせて解説がされます。 頻出する単語・キーワード・パラフレーズについても学習します。
8:55-9:40	マンツーマン授業 (2)	Listening Part 3 & 4	パート1 & 2の授業展開に加えて、リスニングの中でのキーワードの捉え方を学びます。 スクリプトをもとに音読及び発音チェックを行い、基礎力の向上にも取り組みます。
9:50-10:35	空き時間		
10:45-11:30	空き時間		
11:30-12:30	昼食		1 F Cafeteria
12:30-13:15	マンツーマン授業 (3)	Reading Part 5 & 6	講師と共に演習と解説を繰り返します。回答を導くためのテクニックも合わせて解説がされます。 頻出する単語・キーワード・パラフレーズについても学習します。(語彙問題・時事問題・文法)
13:25-14:10	マンツーマン授業 (4)	Reading Part 7	演習と解説を繰り返します。長文読解のコツと問題を早く解くためのテクニックがレクチャーされます。 学生の基礎的な読解力を上げるため、授業ではタイムリミットを設けてより奥の問題をこなすことを目標にしています。 授業でやりきれなかった問題は、課題として出されます。
14:20-15:05	空き時間		
15:15-16:00	マンツーマン授行5	*Customize	テストコース受講者は模擬テストを日曜に受けます。その結果のエラーリカバリーを講師と共にを行います。
16:10-16:55	空き時間		
17:10-17:55	スペシャルクラス A		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
17:55-19:00	夕飯		1 F Cafeteria
19:00-19:45	スペシャルクラス B		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
19:45-20:30	義務自習		所定の場所で時間内、義務自習を行います。
20:30-20:45	単語テスト	Vocabulary	月一木 約 20 問 筆記テスト

* 1 : 4 Group Class は既定の人数に達した場合に行われます。

TOEIC コースについて

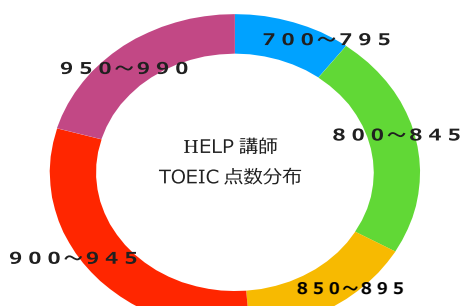
4時間のマンツーマン授業は“パート1・2” “パート3・4” “パート5・6” “パート 7”に分けて授業を行います。基本的に演習型の授業です。学背の間違った問題、理解が浅い問題に対して解説を中心に授業が展開されます。授業では、テスト攻略に必要な、“語彙強化” “頻出フレーズ” “解法のテクニック” “時間配分” を中心に学びます。学習の量と質より、スコアアップへアプローチを行います。毎週末もしくは隔週に実施される模擬テストで定期的に成長を確かめることが可能です。

* 公式テストはクラーク地域で公式試験の受験が可能です。(学校からタクシーで 20 分程度)

* 元のスコアが 600 点以下の場合、4 週のコース受講で平均 100 点前後のスコアアップが見込めます。600 点以上の場合、平均 50-80 点アップが見込めます。

学生によっては 4~8 週で 200 点~300 点アップの実績があります。

* 講義はすべて英語で行われます。基礎の英会話が苦手な方は、まずは ESL コースを受講して下さい。



◇フィリピン講師の TOEIC スコア分布

左図は、同グループ・HELP クラーク校の全フィリピン講師の統計です。講師の半数が 900 点以上のスコアをマークしています。900 点以上のスコアを持つ講師の中でも、TOEIC 指導に適した講師のみ TOEIC コース担当としています。(HELP クラーク講師の TOEIC 平均は 880 前後です。)

IELTS コース

以下、授業数の内訳

1 hour:45 分	1:1 Individual	1:4 Group	Special ClassA/B	VOCA TEST	Total
IELTS	5 hrs	*0~2 hrs	*2 hrs	0.5 hrs	5.5~7.5 hrs

1日の時間割と各レッスンの概要です。*一例です。各時間割りは異なります。

時間	スケジュール	科目	
6:30-8:00	朝食		1F Cafeteria
8:00-8:45	マンツーマン授業 (1)	Reading	IELTS コースのテキストに沿って授業が進みます。単に問題を解くだけでなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションが適時はあります。頻出語彙やキーワード、パラフレーズなどについても幅広く学びます。
8:55-9:40	マンツーマン授業 (2)	Listening	キーワードは音のつながり等、英語を聞き取るための要素の復習を行ったうえで授業に入ります。 授業では単に教科書の問題を解くだけでなく、要所でリスニングの為のテクニック指導を行います。 (音を捉える為、発音やイントネーションの指導も授業内で行います。)
9:50-10:35	空き時間		
10:45-11:30	空き時間		
11:30-12:30	昼食		1F Cafeteria
12:30-13:15	マンツーマン授業 (3)	Speaking	Task1/2/3 の形式毎に演習を行います。頻出問題の反復練習をします。話の組み立て方やテストで実用的なスピーキングの方についても適時レクチャーがあります。
13:25-14:10	マンツーマン授業 (4)	Writing	Task1/2/3の形式毎にライティングの課題が出されます。課題の添削後ミス解説とよりよいライティングをするための指導が行われます。授業では、実用的なフレーズや文章の組み立て方についても学習し、より早く書けるテクニックについても解説が行われます。
14:20-15:05	空き時間		
15:15-16:00	マンツーマン授業 5	*Customize	テストコース受講者は模擬テストを日曜に受けます。その結果のエラーリカバリーを講師と共に進めます。
16:10-16:55	空き時間		
17:10-17:55	スペシャルクラス A		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
17:55-19:00	夕飯		1F Cafeteria
19:00-19:45	スペシャルクラス B		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
19:45-20:30	義務自習		所定の場所で時間内、義務自習を行います。
20:30-20:45	単語テスト	Vocabulary	月一木 約 20 問 筆記テスト

* 1 : 4 Group Class は既定の人数に達した場合に行われます。

IELTS の概要

IELTS は、イギリス、アメリカ、オーストラリアなど 120 カ国。約 6,000 の教育機関・国際機関・政府機関が採用し、年間 140 万人が受験する、世界的に認められた英語運用能力試験です。アメリカでは、約 3,000 校の大学が IELTS を採用しています。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの 4 技能を測定する試験で、記述式の筆記試験と面接によるスピーキングテストで構成され、“使える英語”を測る試験として高く評価されています。イギリスで一般的な語彙・表現やイギリス英語、話者・オーストラリア英語話者のナレーションが多いのが特徴です。

(IELTS には、留学を目的とした“アカデミック・モジュール”と学業以外の海外移住を目的とした“ジェネラル・トレーニング・モジュール”の 2 種類があります。)

IELTS Academic アカデミック・モジュールとは？

アカデミック・モジュールは、海外の大学や大学院に留学や通学をしたい方の英語カレベルを証明するテストです。イギリス・アメリカ・カナダ・オーストラリアを中心に教育機関の入学基準としてアカデミックモジュールのスコアを求めている大学が年々増えています。尚、アカデミックという名から想像できるようにテストでは、学術上のトピックが中心です。(化学、生物、工学、文学 など) ライティング科目では、グラフ、チャート、イラストなどから情報を読み取る問題も出題されます。

IELTS General ジェネラルモジュールとは？

ジェネラルモジュールは、海外での移住・就業をしたい方の英語力レベルを証明するテストです。英語圏での生活に困らないようにことを目的としたテストのため、アカデミックモジュールと比較して一般教養や日常的なトピックが多く取り扱われます。ライティング科目では、手紙やメールの返答など海外生活で必須となる力を評価する問題も出題されます。

「Academic」と「General」モジュールの違い

アカデミック・ジェネラルモジュール間の試験内容の違いは、リーディング・ライティング科目です。リスニング・スピーキングは、同じ試験です。適切なモジュールテストを受験する必要がありますのでご注意ください。

クラーク校の IELTS コースについて

HELP クラーク校では、入学時にプレシメントテストを行い、学生の校内レベルを Stage 1-5 の五段階に振り分けています。グループ授業は同一レベルの学生で構成されます。また、授業で使用される教材もレベルによって決定します。（セクション間で能力にばらつきがある場合は、学生の各セクション能力に合わせて教材を充てます）基本的には、レベルに合わせて授業展開が行われます。

Stage 1/2 (対象：IELTS3.0/4.0 未満)	Stage 3/4 (対象 IELTS5.0/6.0 未満)	上級 Advanced
「理解を深め、正答率を上げることを狙っています」 ・消去法によるアプローチを中心に、テキストに沿って演習 ・実際のテストと同様、生物学、心理学、芸術などのトピックを扱う ・全タイプの問題系統を網羅するまでは、1 授業につき 1 問の演習 ・初級レベルの語彙およびパラフレーズの増強 ・テンプレートを意識した演習 ・基礎的なライティングスキルについての確認（文法 表現 構造、等）	初級より、難易度の高い問題を取り扱う。 正答率をさらに上げ、時間を意識して問題を解けるようになることを狙います。 ・指導方法は基本的に初級と同様 ・初級より難易度の高い問題を取り扱う	時間を強く意識して、問題が解けるようになることを狙っています ・本番に近い形式で演習と解説を反復 ・難易度の高い問が安定して解くためのテクニック指導

備考（フィリピン講師の IELTS 事情）

ヘルプ英語学校で IELTS コース担当をするフィリピン講師のスコア統計です。（2018 年に実施された公式試験の受験者全 13 名のフィリピン講師が対象）
 Average: Listening 8.33 | Reading 8.08 | Writing 6.95 | Speaking 7.79 | Overall 7.83

- ・Listening /Reading/Speaking では、8割以上が 7.5 以上をマーク（Listening は 3割の講師が満点）
- ・Writing では、8割以上が 6.5 以上をマーク（7.0 以上は 4割、7.5 以上は 2割）
- ・受験費用が高額のため、多くの講師に公式試験を受験させるのが難しいのが現状です。上記は参考までにご参照ください。（対象者は公式試験初受験者）
- ・原則、学生の推定保有スコア + 1.0 以上かつティーチングスキルが高い講師を IELTS 担当として配置しています。
- ・グループ内の IELTS トレーニングおよび勉強会は、高得点を取得した講師が中心となって行われます。（全キャンパス共有）
- ・高得点取得者でも、IELTS 指導に向かない講師は、コース担当を行いません。

【まとめ】TOEIC・TOEFL・IELTS コース受講のエントリースコア・ゴールスコア

レベル	コース	ステージ	エントリースコア	ターゲットスコア	受講目安期間
Advanced	TOEIC	Stage 5	750	Over 750	-
Intermediate		Stage 4	650	750	4-8 週
Pre Intermediate		Stage 3	550	650	4 週
Elementary		Stage 2	450	550	4 週
Beginner		Stage 1	350	450	4 週
レベル	コース	ステージ	エントリースコア	ターゲットスコア	受講目安期間
Advanced	IELTS	Stage 5	65	Over 65	-
Intermediate		Stage 4	50	65	8 週-12 週
Pre Intermediate		Stage 3	40	50	4 週
Elementary		Stage 2	30	40	4 週
Beginner		Stage 1	20	30	4 週
レベル	コース	ステージ	エントリースコア	ターゲットスコア	受講目安期間
Advanced	TOEFL	Stage 5	6.5	Over 6.5	-
Intermediate		Stage 4	5.0	6.5	12-16 週
Pre Intermediate		Stage 3	4.0	5.0	4 週
Elementary		Stage 2	3.0	4.0	4 週
Beginner		Stage 1	2.5	3.0	4 週

- ・コース受講をする場合、初日のプレシメントテストまたは隔週の模擬試験で、少なくとも Stage 1 のエントリースコアを満たす必要があります。
- ・定期的実施する模擬試験で各ステージに設定されたターゲットスコアを満たした場合、翌プログラムから上級のステージに切り替わります。

TOEFL コース

以下、授業数の内訳

1hour:45分	1:1 Individual	1:4 Group	Special ClassA/B	VOCA TEST	Total
TOEFL	5 hrs	*0~2 hrs	*2 hrs	0.5 hrs	5.5~7.5 hrs

1日の時間割と各レッスンの概要です。*一例です。各時間割りは異なります。

時間	スケジュール	科目	
6:30-8:00	朝食		1F Cafeteria
8:00-8:45	マンツーマン授業 (1)	Reading	TOEFL コースのテキストに沿って授業が進みます。単に問題を解くだけでなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションが適時はあります。頻出語彙やキーワード、パラフレーズなどについても幅広く学びます。
8:55-9:40	マンツーマン授業 (2)	Listening	キーワードは音のつながり等、英語を聞き取るための要素の復習を行ったうえで授業に入ります。 授業では単に教科書の問題を解くだけでなく、要所でリスニングの為にテクニック指導を行います。 (音を捉える為、発音やイントネーションの指導も授業内で行います。)
9:50-10:35	空き時間		
10:45-11:30	空き時間		
11:30-12:30	昼食		1F Cafeteria
12:30-13:15	マンツーマン授業 (3)	Speaking	“Independent Tasks” “Integrated Tasks” の形式毎に演習を行います。基本的には演習と解説の繰り返しです。話の組み立て方やテストで実用的なスピーキングの方についても適時レクチャーがあります。
13:25-14:10	マンツーマン授業 (4)	Writing	ライティングに必要な基礎知識を学習し、その後テキストの演習に取り組みます。講師は随時添削を行い、文法・表現等間違いを修正します。ライティングにおける良い表現や適切な言葉遣いパラフレーズ等の学習も並行して行われます。
14:20-15:05	空き時間		
15:15-16:00	マンツーマン授業5	*Customize	テストコース受講者は模擬テストを日曜に受けます。その結果のエラーリカバリーを講師と共に進めます。
16:10-16:55	空き時間		
17:10-17:55	スペシャルクラス A		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
17:55-19:00	夕飯		1F Cafeteria
19:00-19:45	スペシャルクラス B		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
19:45-20:30	義務自習		所定の場所で時間内、義務自習を行います。
20:30-20:45	単語テスト	Vocabulary	録音によるテスト。レベル毎に試験内容が異なります。

* 1:4 Group Class は既定の人数に達した場合に行われます。

TOEFL の特徴

TOEFL は海外の学術機関に適した英語力かを判定するためのテストです。大学生生活・実際の講義棟を想定しているため、試験はアカデミックな内容に特化しています。(科学・芸術・歴史・心理学等様々な分野での出題があります。) 通常の英会話や TOEIC のようなビジネス成語と共通する部分もありますが、TOEFL では専門的な内容や処理能力を問われる出題もあるため、語彙力や理解力がより必要とされます。また、スピーキングやライティングのセッションでは、論理的思考も必要とされます。

クラーク校の TOEFL コースについて

クラーク校の TOEFL コースでは、5段階レベル (Stage1~5) を設定しています。

* 下級ステージでは正答率を上げることを狙いとしています。のステージに行くに伴い、問題の難易度が上がり、より時間配分を意識したレッスンになります。

Stage 1/2(TOEFL IBT 30/40 未満)	Stage 3/4(TOEFL IBT 50/65 未満)	上級 Advanced
【理解を深め、正答率を上げることを狙いとしています】 ・消去法によるアプローチを中心に、テキストに沿って演習 ・実際のテストと同様、生物学、心理学、芸術などのトピックを扱う ・全タイプの問題系統を網羅するまでは、1授業につき1問の演習 ・初級レベルの語彙およびパラフレーズの増強 ・テンプレートを意識した演習 ・基礎的なライティングスキルについての確認(文法 表現 構造、等)	【初級より、難易度の高い問題を取り扱う】 正答率を更に上げ、時間を意識して問が解けるようになることを狙いとしています) ・指導方針は基本的に初級と同様 ・初級より難易度の高い問題を取り扱う	【時間を強く意識して、問題が解けるようになることを狙いとしています】 ・本番に近い形式で演習と解説を反復 ・難易度の高い問が安定して解くためのテクニック指導

Business コース

以下、授業数の内訳

1hour:45分	1:1 Individual	1:4 Group	Special ClassA/B	VOCA TEST	Total
Business	5 hrs	*0 hrs	*2 hrs	0.5 hrs	5.5~7.5 hrs

1日の時間割と各レッスンの概要です。*一例です。各時間割りは異なります。

時間	スケジュール	科目	
6:30-8:00	朝食		1F Cafeteria
8:00-8:45	マンツーマン授業 (1)	Vocabulary	ビジネスシーンでよく使われる英単語・熟語・表現について学びます。 そしてシチュエーションごとに、体系的に学びます。授業では、学んだ言葉をベースに英作文や用法の確認を行います。 翌日の授業では前日に学んだ単語の復習テストから始まります。
8:55-9:40	マンツーマン授業 (2)	Debate	特定のビジネスシーンを想定し、講師とディスカッション・ディベートを行います。授業の冒頭では、スピーキングのためのキーワードや予備知識の演習があります。ふさわしくない表現や内容の矛盾については、適時講師から指導が入ります。 内容によっては、課題として授業準備の必要があります。
9:50-10:35	空き時間		
10:45-11:30	空き時間		
11:30-12:30	昼食		1F Cafeteria
12:30-13:15	マンツーマン授業 (3)	Speaking	ミーティング等のシーンを想定し、プレゼンテーション等を行います。学生受動で授業を進める必要があるため、授業準備をしっかりとする必要があります。演習中講師はポイントごとに適切な表現や話の組み立て方を指導します。 プレゼン等で使用するスライド等は各自用意する必要があります。
13:25-14:10	マンツーマン授業 (4)	Writing	ビジネスライティング(メール、企画書、報告書等)シーンを想定し、講師と共にライティングについて学びます。 基本的にはESLのライティング強化と同じ授業展開ですが、よりビジネスに沿ったテーマが設定されます。 授業中には、ビジネス上でのより良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等の学習も並行して行います。
14:20-15:05	空き時間		
15:15-16:00	マンツーマン授業5	Customize	ビジネスシーンも生徒によって様々です。他4コマ以外で学びたいことがあればここで解消しましょう。 講師が希望に近いマテリアルを用意します。
16:10-16:55	空き時間		
17:10-17:55	スペシャルクラスA		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
17:55-19:00	夕飯		1F Cafeteria
19:00-19:45	*スペシャルクラスB		任意参加です。受講しない場合、所定の場所で義務自習になります。プログラム毎により内容が異なります
19:45-20:30	義務自習		所定の場所で時間内、義務自習を行います。
20:30-20:45	単語テスト	Vocabulary	月一木 約20問 筆記テスト

ビジネスコースについて

授業では、ビジネスシーンをベースにしたディスカッション・プレゼンテーション・ディベートを行います。“ビジネス英単語” “わかりやすい伝え方” “丁寧な言い回し” “ロールプレイング”を中心に展開します。

扱うトピックはビジネスライクのものが多いため、一般英会話で物足りない方や、ビジネスシーンでの英語使用を想定される方に向いています。ESLと比較して扱う語彙が広いことに加え、授業の内容が

深いため、課題や授業の準備には多くの時間を費やす必要があります。

クラス名	ターゲット	概要
Daily Expression	Speaking	日常表現の学習
Pronunciation	Speaking Pronunciation	発音強制及びその反復練習
Improve your listening	Listening	リスニングのテクニック講義
Grammar made easy	Speaking Grammar	学習者が陥りやすい文法ミスについて



授業 1. マンツーマン授業

講師 1 名、学生 1 名の授業です。英会話系のコースでは“読む・聞く・話す・書く”の 4 技能をバランスよく学びます。一つの授業に対して、1 教科が割り振られます。

学生の要望に応じて強化科目・弱点科目に合わせた授業展開をすることも可能です。ただし、偏ってスピーキング科目に設定や、一般英会話の内容を著しく外れる内容には対応できません。

テスト対策系コースでは、試験の各パート・セクションに合わせて授業が割り振られます。

(例：TOEIC の場合は、“パート 1 & 2” “パート 3 & 4” “パート 5 & 6” “パート 7”のように系統別に分けて授業展開)

2. 1:4 グループ授業

講師 1 名、学生 4 名の授業です。クラスはコース及びレベルごとに振り分けられます。グループ授業は、基本的にスピーキング科目です。講師が主体となって、ディスカッション・ディベートを行います。

(グループクラスのレベルが合わない場合、スタッフにご相談ください。)

3. 1:8 ネイティブ フリー授業

HELP クラーク校に在籍しているネイティブスピーカー講師のフリークラスに無料で参加することができます。クラスメイトは近いレベルによって構成されます。

ネイティブならではの発音の練習、表現方法を学ぶことができます。特にリスニングの強化にはうってつけです。

ご入学後 2 週間後から選択することが可能です。現地スタッフに希望の旨お伝えください。一度希望されましたら、プログラムの最後まで出席していただけます。

4. パターン課題 *パターン課題用の専用のノートが必要です。

日常の授業とは別に、学生のみなさまには義務宿題と銘打っているパターン課題を日々行っていただけます。

毎週日曜日に課題が掲示され、Day1~Day4、1 日毎に 5 つのパターンフレーズが出ます (計 20 個/週)。それぞれ 3 つずつ自分で文章を作成します。

その後マンツーマンのライティング担当の講師に添削してもらいます。金曜日が提出日で、それを過ぎての提出は認められずペナルティ扱いとなります。



学生寮の概要

HELP クラーク校は 3 階建ての建物で、2、3 階部分が学生の生活する寮となります。1 階は教室階です。キャンパス敷地内には食堂・売店・クリニックなどの生活に必要な施設から、

プール・ゴルフ・卓球台などの生活をより快適にする娯楽施設も揃っています。

項目	内容
キャンパス名	クラークキャンパス
設立	2011 年(*1)
住所	Bldg 5272 C.M. Recto Highway, Clark Freeport Zone, Pampanga
最短受講期間	1 週間(ピークシーズンは 4 週間からのみ)
インターネット環境	寮階 2 階、3 階で Wi-Fi を提供(平日は 6 時—24 時)
門限 月—木	外出不可
門限 金	日中は外出不可。18 時—24 時のみ外出可
門限 土—日	土曜は 6 時—24 時、日曜は 6 時—21 時で外出可(*2)
外泊	入学時の初週を除く週末は外泊が可能。 *事前にオフィスの許可が必要 *クラーク付近の宿泊は禁止
EOP I/A	平日日中の教室階 1 階では英語使用を義務付けています。ペナルティあり
定員	250 名
日本人比率	10%—20% *時期によります
アクセス	クラーク空港から車で 3 分/マニラ空港から車で 2 時間 *道路状況により大幅に変わる場合があります。
受け入れ年齢	17 歳以上 *未満の場合保護者同伴で受け入れ可
施設	売店、卓球台、プール、バドミントン、バスケ等
部屋タイプ	1 人部屋/2 人部屋/3 人部屋/4 人部屋(*3)

*1...グループの創立は1996年です。クラークキャンパスは2011年に開校しました。

*2...祝日の外出時間は曜日によって異なります。金曜祝日の場合は土曜のスケジュール、それ以外の曜日なら、日曜と同じスケジュールです。

*3...現地での差額支払いにより、部屋をグレードアップすることは可能です。(フィリピン通貨支払い) グレードダウンの場合、一切の返金は致しません

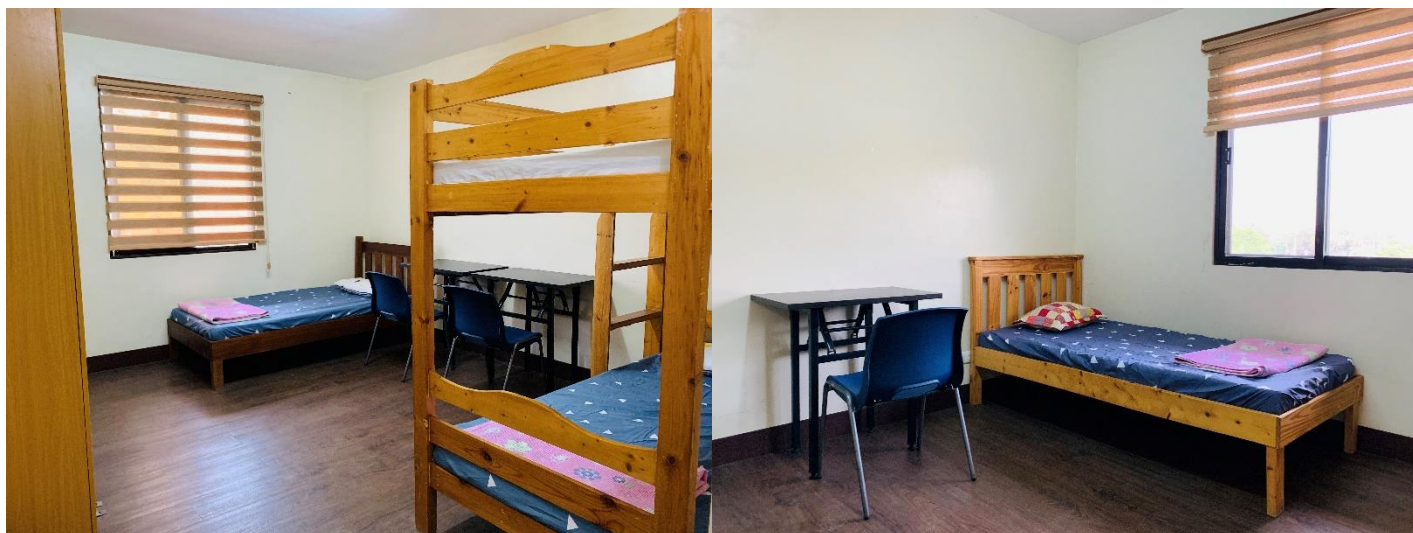


・クラーク 施設写真



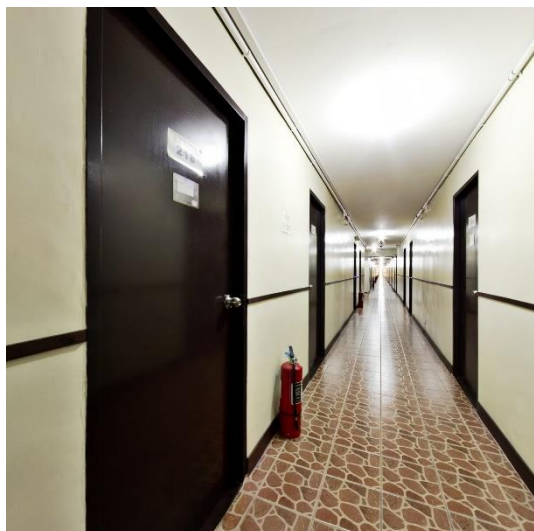
↑4人部屋

↑2人部屋



↑3人部屋

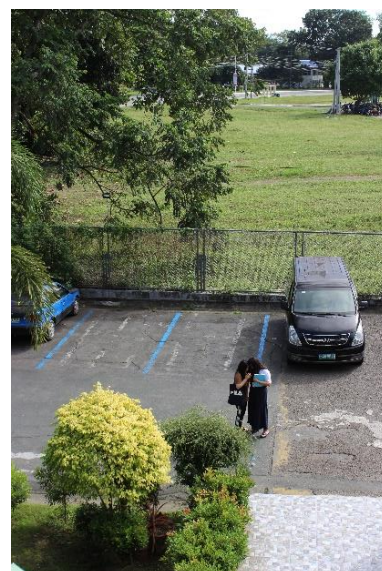
↑1人部屋



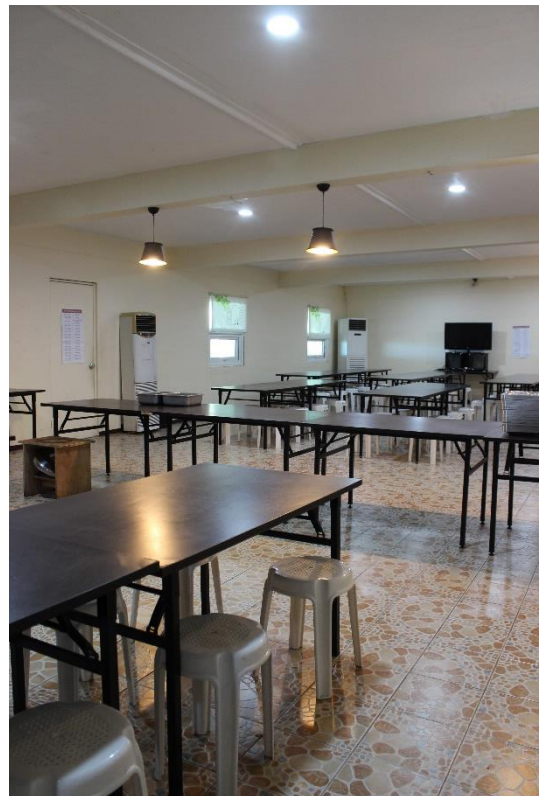
↑寮通路



↑コンフォートルーム



↑寮からの景色



キャンパス 1 階部のカフェテリアにて給食が提供されます。

- * バイキング形式です。各自、ご飯の時間内に摂ります。韓国資本の学校ですが、韓国料理に偏った献立ではありません。（キムチは毎日です。）
- * 校内の至る場所にウォーターサーバーを設置しています。熱湯も利用可能です。
- * 食事の時間以外でも、カフェテリアは 23 時まで開放していますので、デリバリーや、買ったものを食べる際は部屋でなくここで食べていただきます。

生活規則

授業について

4 週間を 1 プログラムとして授業が展開されます。授業は平日のみ開講されます。1 コマの授業は 45 分です。15 分以上の遅刻は欠席扱いとなります。授業は所定の教室で行われます。学校規定の教科書を使用して授業を行います。講師に要望を伝えることで、授業をカスタマイズすることが可能です。ただし、コース内容を逸脱することはできません。また、深い専門知識を要する内容等是对応ができません。（カスタマイズを前提の講師は設定できませんので、予めご了承ください。）

講師変更について

講師はプログラム毎に入れ替わります。場合によっては、翌プログラムも同じ講師が担当する場合があります。* 4 週のプログラム終了後、校内所定フォームの講師評価を提出していただきます。

講師と合わなかった場合等その理由を明確に書いてください。翌プログラムでは、その点を踏まえて講師設定を行います。確証はできませんのでその点はご了承ください。

English Only Policy (EOP)

平日日中の指定エリアでは英語使用が義務付けられています、規則を守らなかった場合、ペナルティが発生します。(聞き手もペナルティの対象です)

尚、クラーク校のオフィスでは母国語使用が可能です。困ったことがある場合は、EOP 違反で解決するのではなく、オフィスへ来て解決するようにしてください。周りの学生への配慮をお願いします。

門限の厳守

外出時間は必ず守ってください。違反者には数週間の外出禁止の罰則が科せられます。学内の風紀だけでなく、学生の安全にもかかわる卑怯に重要な規則です。

度重なるケースや故意による場合悪質な違反とみなし、退学措置を取ります。更に違反者に対しては外出禁止ペナルティのほか、学内掲示板に顔写真を載せて警告文を張り出します。

絶対に門限を破らないでください。

= 罰則規則 =

違反の内容	罰則 (外出禁止)
キャンパス内への酒類搬入	2 週
キャンパス内での酒類搬入および飲酒の発覚	3 週
酒瓶の発見	3 週
門限違反 (60 分未満) ※過失の場合に限る	1 週
門限違反 (60 分超過～6 時間未満) ※過失の場合に限る	2 週
無断外泊 (6 時間以上の門限違反)	3 週
キャンパス内でのギャンブル行為	2 週
カジノへの出入り	2 週
部屋での喫煙・炊事	1 週
異性の生活階への立ち入り ※招き入れた学生も同様に処罰	1 週
他学生の部屋への立ち入り (同性の場合) ※招き入れた学生も同様に処罰	2 週
他学生の部屋への立ち入り (異性の場合) ※招き入れた学生も同様に処罰	3 週
クラーク内・アンヘレス市内での宿泊	3 週
滞在期間中に累計 4 週以上の外出禁止が課された場合	除籍
異性との過剰なスキンシップ	除籍
暴力、威嚇、その他迷惑行為	除籍
講師との交際	除籍
未成年の飲酒・喫煙	除籍
法律違反 および 法に抵触する恐れのある場合	除籍
卒業前で罰則が履行できない場合	罰金 P1000/週
ジュニア学生への不要な接触	状況判断
他学生への迷惑行為 (泥酔、マナー違反、学習妨害、嫌がらせ 等)	状況判断

社会のモラルの欠如または、著しく配慮に欠ける言動があった場合、スタッフ権限により罰則または退学措置をとる場合があります。異なる国籍の学生が共同生活を行うため、文化的な習慣などはお互いに尊重し合う必要があります。互いに有益な関係が築けない場合、学校が特別な措置をとる場合もあります。

* 学校の風紀を保つためにも、門限及び飲酒・喫煙のルールをはじめ、共同生活の上でのマナーにはくれぐれもご注意ください。

単語テスト

クラーク校では、平日 (月～木) 毎晩単語テストを行っています。在学する学生は、必ずテストを受ける必要があります。

内容 : ESL (Level 1 ~ 5) * 録音による発音並びに暗記のテスト レベルによって 20 問～50 問

テストコース (Stage 1~5) * 筆記テスト 約 20 問

備考 : 欠席の場合は一律 50 ペソの罰金 * 病欠または正当な理由がある場合、減額または免除

7 問以上間違えがある場合、誤答 1 問につき 1 ペソデポジットより減額されます。

不正及び、不相当なことがあった場合、内容に応じて別途ペナルティ有

模擬試験・公式試験 * IELTS TOEIC TOEFL

模擬試験

毎週日曜日の夜に、TOEIC・IELTS・TOEFL の模擬テストを実施しています。

- * テストコースの学生及び申込者には受験の義務があります。* 欠席の場合ペナルティが発生します。
- * テストコース以外の学生が試験を受ける際 費用が掛かります。(TOEIC : 50 ペソ、IELTS・TOEFL : 400 ペソ)

公式試験

TOEIC の場合、学校で申し込むことができます。隣市のアンヘレスで受験可能です。

- * 学校からタクシーで 30 分程度
- * 申込期間は試験日の 2 週間前まで

IELTS・TOEFL の場合、各種主催団体の公式サイトより個人で申し込む必要があります。不明点はオフィスへご相談ください。

- * 近隣の試験会場はマニラです。 * 学校からタクシーで 2 時間半の所要です。

清掃 ・ ハウスキーピング

申請制です。校内所定のフォームに記入申請することで、週に最大 3 回まで部屋の清掃サービスを受けることができます。なお、廊下や教室棟の共有部分は日曜を除き毎日清掃が入ります。

- * トラブルを避けるため、必ず学生が部屋にいる状態でサービスが入ります。

洗濯 ・ ランドリーサービス

外部業者によるサービスです。週に 3 回 (月・水・金) に業者がキャンパス内所定の場所で待機します。洗濯物を提出すれば、翌サービス日に返却が行われます。

- * 残念ながら、日本と比較して洗濯の質は劣ります。高価な衣服や色移りが心配なものは、個人の責任でサービスを判断してください。下着等、気になるものは手洗いすることをお勧めいたします。* 万が一紛失した場合、学校では責任を負いかねますので予めご了承ください。

街への交通手段

待ちへの移動は、基本的に“ジブニー (相乗りバス) ” “Grab タクシー (呼びつけタクシー) ” のいずれかです。ジブニーの場合は日本円で、30 円~40 円、Grab の場合 300 円~700 円かかります。* 時間帯、曜日で金額が変わります。

校内クリニック・近隣の病院

クラークキャンパスの 2 階には、校内クリニックがあります。

- * 平日の日中は看護師が校内に在中しています。

車で 20 分圏内には複数の病院があります。

学校で処置ができない場合、病院へ行き診察にかかることも可能です。

- * 日本人には日本人通訳のいる病院へまず案内します。保険加入の方は保険証原本を必ずお持ちください。(キャッシュレス対応可能か判断できます)



転校制度

ロンロン校

クラーク校

隔週の入学指定日にて、HELP English Academy の他キャンパスに移動することができます。就学途中で環境を変えることができます。転校を希望する場合転校先のプログラムが始まる 2 週間前までにオフィスで申請してください。(ご不明点は現地スタッフへお尋ねください。)

- * 施設・システム・風紀 等、十分に確認したうえで転校の申請をしてください
- * 夏休み・冬休みシーズンで 4 週以上の滞在予定がある場合のみ
- * 転校は片道です。元のキャンパスに戻ることはできません
- * 転校に伴い研修費用に差額が発生する場合、転校先で差額の支払いの日津必要があります

★ロンロン校

初級～上級者向けのキャンパスです。日本人比率が5%程度の為、日本人学生と距離を置いて学びたい人にオススメの校舎です。
クラーク校、ロンロン校ともに初中級者をターゲットにしていますがクラーク校には初級者が多めにいることに比較し、ロンロン校が中級者の割合が増えます。



週末の過ごし方／近隣のアクティビティ

- ・ウォーターパーク
- ・大型ショッピングモール/SM、マキモールなど
- ・民俗村
- ・乗馬
- ・ゴルフ等

*クラーク経済内には、多くの外国人が住むため、お洒落なレストランや、カフェ、マッサージなどの娯楽施設が多くあります。

*治安の良い地域であることに加え、フィリピンでは珍しく道路整備が非常に整っています。車両規制などで、交通量が少ないため学校周辺をジョギング・サイクリングすることもできます。

*タクシー等を利用して、海へは2時間ほどでアクセスできます。(スピーク・ハンドレッドアイランド 等)

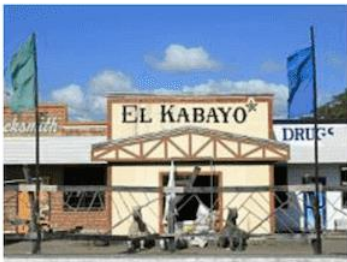
1991年にアメリカ空軍のクラーク空軍基地が返還された後、1993年に経済特別区としてされました。クラーク経済特区内には、多くの空軍基地の後があります。



Clark Main Gate



DMIA



EL KABAYO



Stotsenburg parade ground



Fontana



Mimosa



ピナツボ火山トレッキング

クラーク校が位置するフィリピン・パンパンガ州には有名な火山（Mr. Pinatubo）があります。

現地ツアーを申し込むことによって、休日に本格的なトレッキングを楽しむことができます。乗り物やツアーガイドの関係上、最小結構人数があります。学校で仲良くなったスクールメイトと一緒に申し込みましょう！

* 時間・日程・転校によってツアー費用は 4,000～4,500 ペソです。費用には、交通費・ツアーガイド費・入山費・登山に関する保険料、また地域に住む全住民への寄付が含まれています。

山の麓から四輪駆動車で 1 時間、その後 1 時間半くらいトレッキングをすると山頂のカルデラ湖に到着です。道中のオフロードを含め、非常に素晴らしい景色が広がっています、

ピナツボ火山山頂のカルデラ湖↓



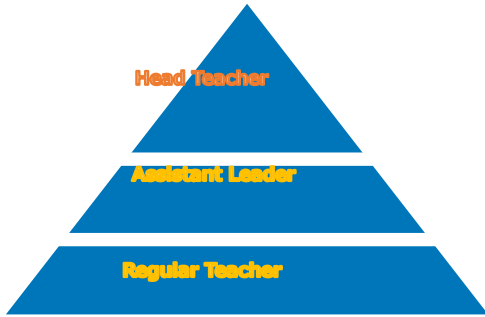
クラーク校の講師

年齢層：20代前半 25%、20代後半 25%、30代前半 15%、20代後半 10%、40代前半 10%

性別：女性講師 75%、男性講師 25%

勤続：1~2年 15%、3~4年 70%、5~6年 10%、7~8年 5% * 金属 3年以上の講師が全体の 85%以上

HELP クラークキャンパスの講師は、以下のマネジメント体制でプログラムを提供しています。



★Head Teacher ヘッドティーチャー

講師陣の TOP です。学生数に応じて、1-2名の講師が任命されます。学生スケジュール管理及び講師のトレーニングを担当します。

★Assistant Leader アシスタントリーダー

ヘッドティーチャーのサポート約。通常 3-4名ですコースごとに担当が異なり、ヘッドティーチャーと同様、スケジュール管理及びトレーニングを担当。

★Regular Teacher レギュラーティーチャー

学生へ教える講師です。クラスに問題が生じた場合、直属のアシスタントリーダーに相談して、問題解決を行います。定期的なトレーニングがあります。



Head Teacher – Florence *ヘッドティーチャーからのメッセージ

“Teaching has always been a part of my life and it is one of the most rewarding experiences to see my students soar high in the pedestal of success. In the world of teaching, a teacher must see the students at the center, recognizing and developing all facets of learning for them to become competent and confident individuals in our society.”



* 現地価格の一覧 1ペソ=2.1円で計算 (2018年現在)

カフェ * ドリンク 1杯あたり	: 100~150 ペソ
レストラン * 一品あたり	: 250~500 ペソ
マッサージ * 1時間	: 300~500 ペソ
映画 * 2D・3D	: 250~450 ペソ
ドライバー	: 300~600 ペソ
スマートフォン	: 3,000 ペソ~

フィリピン国内専用の携帯電話	: 1000 ペソ～
ペットボトル飲料	: 20～40 ペソ
カップラーメン	: 40～60 ペソ
煙草	: 50～100 ペソ
ビール	: 30～100 ペソ
ノート・ボールペン	: 10～30 ペソ
通話料・通信表	: 300～400 ペソ

* 補足より良い留学スタートを切るために

留学初期の頃は“自己紹介”を頻繁に行います。渡航前に、自己紹介を紙にまとめ、練習をしておくことをつよくおすすめします。また、自己紹介から想定される質問の返しについても可能な限り考えておくことと現地でいいスタートを切ることができます。授業でよく使う表現は事前に考えておくことをお勧めします。

例:「Could you speak more slowly?」「Could you explain it again?」「I want to know more about XXX」「Could you please write it down?」等

学校からのお願い

以下はフィリピン人の代表的な特徴です。国民性への理解が書けると予期せぬトラブルに巻き込まれる可能性が非常に高くなります。

フィリピン留学をする前、各項目についてチェックをお願いします。* 必ずしも以下がすべてではありません。

自尊心が高い・プライドが高い

フィリピンでは、“ほめて伸ばす”教育の傾向があるため、叱責されることに耐性がありません。また、家族・兄弟・同僚等の他社との結びつきが日本社会のものより強いため、人前で叱責されることを特に苦手とします。人前でからかわれることに関しても同様です。感性が大きく異なるため、ジョークで済む話が思わぬ誤解となることがあります。講師を含め、フィリピン人スタッフに物言いするときは、内容だけでなく場にも注意してください。難しいことがあれば、まずは現地学生マネージャーにご相談ください。

衛生・ニオイに敏感

フィリピン人は日本人と同じように清潔感を大切にします。特に“衛生・ニオイ”に関しては厳しいため、注意が必要です。フィリピンでは気候をはじめ、水や食べるものが異なります。学校生活では生活習慣も日本とは変わる人が多いため、日本社会では当たり前の日本人独特のニオイを出してしまうことがあります。国が異なることから、耐性のないニオイもあります。朝晩シャワーを浴びる、歯をしっかりと磨く等の配慮をすればこのような状況を避けることができますので、日ごろから配慮を忘れないようにしてください。

* 特にマンツーマンの教室のような狭い密室空間では目立ってしまいます。お互いに悪気があってのことではありませんので、講師やスタッフから依頼が入っても深く受け止めないでください。

お金 所得格差

日本とフィリピンの間には大きな所得格差があります。フィリピンの給与水準では、学校で働く講師たちは高い部類に属しますが、それでも日本社会の平均的な所得とは数倍の差があります。金銭の贈与及び貸し借りを含め、お金にかかわる話題の可能な限り避けるようにしてください。信頼関係を崩さないためにも、お金にかかわるやりとりには細心の注意を払ってください。

明るい性格

フィリピン人の気質で一番知られているのが、“性格の明るさ”です。陽気で笑いにあふれる国民性の為、人に対してポジティブに向き合います。いいことではありますが、裏を返せば物事に対して楽観的な面もあります。講師と仲良くなることは大いにしていきたいことですが、身の安全や社会的なルールについては、フィリピン人に流されず、自身でもしっかりと考えを持つようにしてください。

時間にルーズ

暑い国ではよくある、時間にルーズな気質はフィリピンでもあります。全てではありませんが、全体的に時間におおらかな人が多いです。待ち合わせや約束があっても、時間に対しては大きな期待をしないようにしましょう。ただし、学校では別です。講師が授業に遅刻するようであれば、すぐに最寄りのスタッフへ伝えてください。

◆HELP English Language Program =HELP English Academy =



創立：1996年

所在：バギオ（ロンロン校）・クラーク（クラーク校）

事業：英語学校の運営

概要：ESL,TOEIC,IELTS,TOEFL、対策プログラム及び、親子留学、ジュニア団体プログラムの提供

◆Concordia International College of Banquet (コンコーディアインターナショナルカレッジ)



創立：2014年

所在：バギオ *HELP English Academy ロンロン校と同敷地内

事業：インターナショナルカレッジの運営

概要：シニアハイスクール運営,パスウェイプログラム(アメリカ,スイス等の教育機関への進学プログラム)

◆Gentry International School (ジェントリー)



創立：2008年

所在：クラーク *HELP English Academy クラーク校と同敷地内

事業：インターナショナルスクールの運営

概要：キンダーガーデンプログラム,グレード1 - 12に対応したジュニアプログラムの提供

◆IVOLINE (オンライン英会話センターアイボライン)



創立：1999年

所在：クラーク *HELP English Academy クラーク校と同敷地内

事業：オンライン英会話サービス

概要：オンライン英会話プログラムの提供 (ESL,IELTS 対策プログラム)

=HELP Clark Campus =

学校名：HELP IBT CORE Inc.

住所：5272 C.M Recto High Way , Clark Freeport Zone , Pampanga